

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2023～2024年度 国際ロータリー ゴードン R. マッキナリー 会長テーマ

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyar@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 英樹
幹事 石川 泰隆
会報委員長 岡田 行永

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3207回例会プログラム

[当年度 = 5 回目；当月 = 1 週目]

2023年（令和5年）8月7日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:15 〈食事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 会長挨拶並びに会長報告
8. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(8/14) ……休会(定款第7条第1節(d))
(8/21) ……
クラブフォーラム(会員増強委員会)
講師 地区会員増強委員会
副委員長 木所 壮太 様(豊橋東 RC)
(紹介者 關 淳之 会員)
- 13:00 14. 本日のプログラム
新会員アワー
赤川 一好 会員
安田 奏子 会員
15. 謝辞
16. 点鐘……〈会長〉
17. 閉会宣言
- 13:30 18. 散会

出席

会員総数 96名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠席 9名 出席率 89.77%
前々回(7/24)の修正出席率 100%

幹事報告

- 1) 本日例会終了後、特別会議室において第2回理事
会を開催致します。関係の会員は出席をお願い致し
ます。

会長あいさつ

加藤 英樹



先月の29日、30日に万燈祭に参加
してきました。

昨年度はまだ自粛ムードの中での
開催でしたが、今回は以前の通りの
開催でした。多くの方が訪れて楽し
んでいらっしゃいました。愛知県の
無形民俗文化財に指定されている万
燈祭は、刈谷市銀座にある秋葉神社の祭礼で、「天下の
奇祭」と呼ばれ、刈谷を代表する夏祭りのひとつです。
僕も子供の頃に万燈小屋で万燈作りから参加し、町内を
練り歩きました。当時は一升瓶の持った酔っ払いの紳士
の方々の喧嘩祭りのイメージでした。僕の同級生のI君
とかN君たちはその伝統を大切に大人になっても
元気に小競り合いを繰り返していましたが…。

歴史的には1756年に建立された秋葉神社にて、1778年
の祭礼に笛や太鼓にあわせて万燈が登場したとの記述が
見られ、現在ではこれを起源としているようです。今の
祭礼は、7月最終土曜日と翌日の日曜日の2日間開催さ
れ、1日目を「新楽(しんがく)」、2日目を「本楽(ほん
がく)」と称し、「新楽」では氏子町の7町(銀座、司
町、新栄町、寺横町、東陽町、広小路、広小路五組)に
加え、市内の企業や地区の万燈も参加し、10数基の大万
燈と多数の子ども万燈が市内を練り歩きます。また、「本
楽」では氏子7町の万燈が秋葉神社の境内で舞を奉納し

ます。この「万燈」ですが、竹と和紙で作られた張子人形を色鮮やかに彩色したもので、多くは歌舞伎絵や武者をかたどっています。大きなものでは高さ約5メートル、幅約3メートル、重さ約60キロにもなり、これを若衆が一人で担ぎ、笛や太鼓のお囃子に合わせ舞います。との説明がありました。

では、日本におけるお祭りの起源はというと、神話の時代にさかのぼるようです。荒くれ者のスサノオノミコトにあきれた太陽神であるアマテラスオオミカミが岩戸の中に隠れてしまいます。太陽神のいない世は暗く災いの多い世界となってしまう困り果てた八百万の神々が話し合い、太陽神を招き出すために岩戸の前でどんちゃん騒ぎをしました。その楽しそうな様子に誘われて太陽神が出てきたため、再び明るい世を取り戻すことができました。このどんちゃん騒ぎが祭りの始まりといわれています。コロナで暗くなった世の中を万燈祭のような各地のお祭りが明るく照らしているのと同じようですね。

また、自然とともに暮らし農耕民族として生きてきた日本人は、太陽や雨、雲、海、山、川、動植物など、すべてのものに神が宿っていると信じています。春は豊作を願い種をまき、秋は実りに感謝して収穫する。自然の神々に五穀豊穡と健康や安全を祈ります。それが儀式・祭りとして人々の暮らしに根付き、世代を超えて伝わっているのです。万燈祭も確か雨乞いのお祭りでした。

さて、日本の夏の風物詩と言え、お祭りと花火です。岡本巧先輩達が始めたわんさか祭りは花火が有名なお祭りとなりました。海外で行われる花火はイベントのにぎやかやショー的意味合いが強いように感じますが、日本では美しさを楽しむだけでなく、納涼や景気づけ、レクイエムなどの意味があります。夏の風物詩のもう一つの盆踊りは先祖供養の意味があり、神事で家内安全や五穀豊穡、疫病退散を祈ったりします。今年のわんさか祭りは8月18日、19日となります。いろいろな思いをこめて楽しみたいと思います。

本日は新会員のお2人の卓話です。どうぞお楽しみください。

還暦のお祝い



松浦 修三 会員

お 祝 い

8月の会員の誕生日…加藤英二、今村順、市川裕大、佐野眞琴、鈴木文三郎、松浦修三、服部智会員

配偶者の誕生日…小林久美子（祥浩）、室殿陽子（豊）、都築八月（浩介）、神谷美保（強）、池田理恵（直樹）、丹羽朋恵（克誌）、寺田晃子（博正）様

8月度結婚記念日…關淳之会員

8月度入会記念日…室殿豊、内藤昇、南康、佐野眞琴会員

新 会 員 ア ウ ー

赤川 一好 会員



令和5年4月24日に伝統と格式のある刈谷ロータリークラブに入会させて頂きました岡崎信用金庫西三河第二統括ブロック長の赤川一好です。本日はこのような機会を頂きまして誠にありがとうございます。折角なので私の簡単な自己紹介、改めて岡崎信用金庫をご紹介します。

まずは自己紹介をさせていただきます。昭和40年11月16日に愛知県額田郡額田町（現在岡崎市）に生まれました。地元の小中学校を経て、愛知県立国府高等学校商業科を卒業し、昭和59年3月に岡崎信用金庫に入庫しました。岡崎市内4店舗、名古屋市内3店舗、西三河内4店舗を経験し、現在勤続40年目となります。家族は妻と社会人の息子と3人で暮らしており、近隣に娘夫婦と孫が2人住んでいます。趣味は35年全く進歩のない衰退しているゴルフと癒しを求めヒーリングミュージックを聴くことです。現在は西三河第二統括ブロック長として刈谷ブロック6店舗、安城ブロック6店舗計12店舗を統括しております。刈谷市内の店舗を改めて紹介させていただきます。刈谷支店（開設72年）、刈谷日高支店（開設45年）、東刈谷支店（開設41年）、半城土支店（開設32年）、一ツ木支店（開設31年）。岡崎信用金庫の基本方針・長期ビジョン・中期経営計画・当金庫の概要、シンボルマーク・バンクカラーを説明させていただきます。信用金庫は会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に会員1人ひとりの意見を最大の価値とする共同組織金融機関です。総会に代えて総代会制度を採用しています。当金庫は障がいがありながらも素晴らしい絵の才能を持つアーティストたちの自立に取り組む一般社団法人アティックアートの活動を応援しています。最近心に刺さった言葉は「正しい意見でも、思いやりがなければ、言われた人は傷つく。」であります。ハートの弱い私であります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

新会員アワー

安田 奏子 会員



本日は、お時間を頂きまして誠にありがとうございます。

野村証券株式会社刈谷支店の安田奏子と申します。

生まれも育ちも三重県津市です。

津市は、人口27万人で、企業では、井村屋さんやおやつカンパニーさん

が津市発祥です。

家族は、夫と子供2人です。長男は、高校三年生、長女は小学校5年生です。

両親も健在ですので、わたしは多くの家族に応援されて、仕事をしており、本当に家族に感謝しております。

さて、次に私の仕事について、お話ししたいと思います。

前任地では、資産運用、相続贈与コンサルティングなどを行ってきました。また、金融・経済教育活動にも力を入れていました。

高校の授業のコマを野村の出張授業という形で担当しておりました。

生徒さんは、興味を持って取り組んでくれるので、非常に楽しい仕事でした。

よく人から、「野村証券は厳しい会社なのに、どうして続けてこられたの？」と聞かれますが、振り返ると、学生時代の経験のおかげだと思っておりますのでお話しさせていただきます。

私は、高校時代なぎなたをしておりました。

厳しい世界に身を置いて、苦労したからこそ得られる強くなるという実感、仲間との絆は一生の宝物です。野村に入って、大変なことが多かったですが、「あのころ努力して乗り越えられた」と思うと、力が湧いて、乗り越えることができました。

最後に、私が大切にしていることをお話ししたいと思います。

まず、証券マンとして大切にしていることは「お金の色を知る」ということです。

お客様のお金には、それぞれ色があると思います。それを知る努力をするようにしています。

次に、人として大切にしていることは、「自分の感受性くらい」という詩です。

時代や周囲のせいにせず、志を持って主体的に生きるという内容です。

主体的であることは、自分を助けてくれると思いますので、伝統と格式の刈谷ロータリークラブにおいても、主体的に活動に取り組みたいと思います。

本日はお時間を頂きまして、ありがとうございました。

